

(様式2)

## 健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 芦屋健康福祉事務所

### 1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<ol style="list-style-type: none"><li>1 芦屋市の高齢化率は29.0%と、兵庫県平均値(28.2%)より高くなっており、65歳以上人口は今後も増加する見込みである。</li><li>2 第9次芦屋すこやか長寿プラン(第9次芦屋市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画)では、高齢者を地域で支える環境づくりや社会参加、介護予防、介護サービスについての施策の方向が示されており、介護予防の面では、コロナ禍での新たな取組み方法の検討や、栄養士など専門職と連携した取組の充実などが、今後の課題となっている。</li><li>3 高齢者をとりまく関係者に、介護予防のための低栄養予防の重要性は認識されているものの、食に関する課題は生活支援の中では、十分な取組みまでにつながっていない。</li></ol>
今年度の推進方策	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者のフレイル予防に向けて、関係団体等と連携・協働し、人材育成、普及啓発に取り組む。</li></ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者を取り巻く関係者(高齢者施設 地域事業推進グループ)と協働し、高齢者の食・栄養の課題に沿った、取組みができた。</li><li>・地域の高齢者のフレイル予防に向けて、特に食・栄養に関する具体的な現状や課題、取組み状況について、栄養士会・認定栄養ケアステーションと共有できた。</li></ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域団体・関係機関と連携した実践活動を展開することにより、食育推進体制の充実を図る。</li><li>・歯科医師会、栄養士会等、職能団体と連携し、フレイル予防に取り組む専門職の研修、情報提供の機会を充実させる。</li></ul>

### 2 会議の開催状況

実施日時	<ol style="list-style-type: none"><li>①令和4年1月18日(火) 14:30~15:30(オンライン開催)</li><li>②令和4年2月10日(木) 14:30~15:30(新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止)</li></ol>
参集者 (団体数 及び人数)	<ol style="list-style-type: none"><li>①芦屋栄養士会、Smileはんしん 認定栄養ケアステーション (2団体6人)</li><li>②芦屋市健康課(1機関2人)</li></ol>
協議内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1 情報提供「高齢者の低栄養の現状と、兵庫県版フレイル予防プログラムを活用した芦屋健康福祉事務所の取組みについて」</li><li>2 協議・意見交換「芦屋市における高齢者の食・栄養の現状と課題について」</li></ol>
今後の方策	今後も、高齢者をとりまく関係者による情報共有の場を設ける。

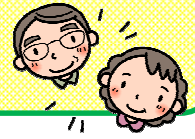
※会議の議事録、参集者名簿は別添のとおり。

### 3 食育実践活動の結果

テーマ	テーマ「高齢者の食支援に関する体制整備」		
対象及び参加者数	①在宅介護者・関係者	19人	
	②健康ひょうご21県民運動推進員	48人	
	③芦屋市社会福祉協議会、芦屋市高齢介護課 介護サービス事業所	2人	28施設
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	令和3年 8月11日(水) 芦屋市保健福祉センター	○講話「高齢者のフレイル予防について」  *地域事業推進グループ主催 介護予防セミナーの中で実施	芦屋健康福祉事務所 エルホーム芦屋地域 事業推進グループ
	11月4日(木) 尼崎商工会議所	○展示「高齢者のフレイル予防、フレイルを予防するための食生活のポイント」  *健康ひょうご21県民運動推進員フォローアップ研修会の中で実施	芦屋健康福祉事務所 兵庫県健康財団阪神 南支部
	12月7日(火) ～1月28日 (金) 芦屋健康福祉事務所	○地域の高齢者の現状、各機関での 取組み状況のききとり・把握 ○介護サービス事業所における、栄 養管理体制の把握・分析	芦屋健康福祉事務所
成 果	<p>【成果】 高齢者施設の地域事業推進グループと連携し、介護予防の視点から、高齢者のフレイル予防のポイントについて、普及啓発できた。 また、地域の健康づくりの関係者・団体に対し、フレイル予防のポイントを普及啓発することができた。 さらなる高齢者の低栄養予防に向けた取組みを検討するため、介護サービス事業所の現状把握に取組み始めたが、現状の分析までには至らなかった。</p> <p>【評価指標と目標値及び達成状況】 〈ストラクチャー評価〉所内で事業目的を共有し、合意して事業を実施できた。今年度新たな関係機関と連携し、協働して事業が実施できた。 〈プロセス評価〉実践活動の一部は、新型コロナウイルス感染症業務の都合により、実施することができなかった。参加者の満足度までは把握できなかった。 〈アウトプット評価〉実践活動回数：(目標)3回 → (実績)3回 新たに連携できた関係機関の数：(目標)3箇所 → (実績)2箇所 〈アウトカム評価〉フレイルという言葉と意味を知っている人の割合、体重の変化を把握している人の割合、1日3食きちんと食べている人の割合、たんぱく質を多く含む食品を食べている人の割合(今後把握)</p>		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各組織・団体での住民への正しい情報の普及啓発。</li> <li>・栄養士会、歯科医師会等職能団体と連携した、取組の充実。</li> <li>・地域の栄養課題の把握と分析。</li> </ul>		

# 令和3年度 健やか食育プロジェクト事業の取り組み

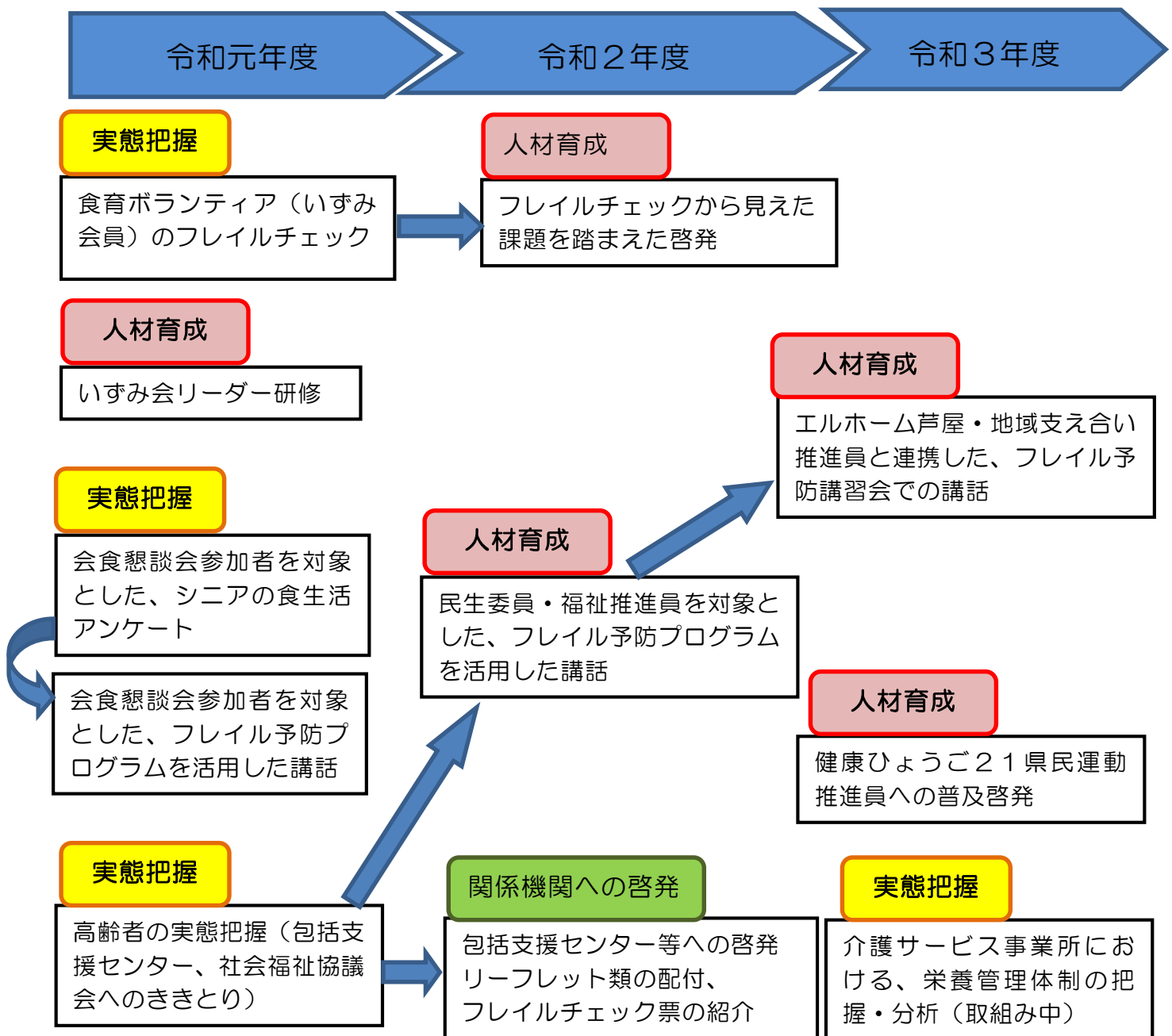
## ～高齢者の食支援に関する体制整備～



高齢期における低栄養状態は、それが続くことによりサルコペニアの発現をまねき、フレイル、ひいては要支援・要介護状態につながる危険性があります。

令和元年度から、芦屋健康福祉事務所では、高齢者のフレイル予防に向けて、地域団体・関係組織等と連携・協働し、高齢者の食支援に関する体制整備に向けた実態把握、フレイル予防の普及啓発、人材育成に取り組んでいます。

### 実践活動の経過



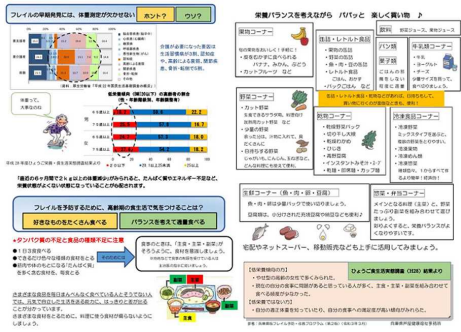
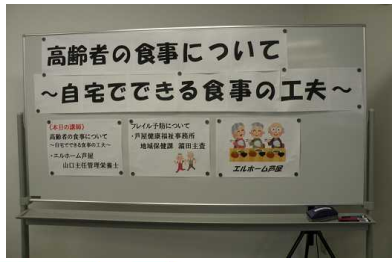
# 令和3年度 実践活動

## 介護予防セミナーでの普及啓発

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高齢者の外出機会が減る中、身体機能の低下などが懸念されています。


そこで、食事の面から、高齢者が自宅で元気に生活されるためのヒントとなる講話、実習を、高齢者施設の地域事業推進グループと連携し、介護予防セミナーの中で、実施しました。

日程：令和3年8月11日（水）  
 対象：在宅介護者・関係者  
**【内容】**  
 ■講話「高齢者のフレイル予防について」



## 健康ひょうご21県民運動推進員への普及啓発

健康ひょうご21県民運動推進員フォローアップ研修会の機会を利用し、「フレイル予防のための食生活」について普及啓発しました。




## 地域の実態把握

さらなる高齢者の低栄養予防に向けた取組みの方策を検討するため、介護サービス事業所の現状把握にも取組みました。  
 （新型コロナウイルス感染症対応により、実施を中断）

公益社団法人兵庫県栄養士会作成「フレイル予防カルタ」は好評！

### 実践活動のまとめ

- ① 高齢者を取り巻く関係者と新たに繋がることで、地域住民への普及啓発の機会ができた。
- ② 今後も、職能団体等と連携し、地域の栄養課題に即した取組みをすすめる。

「健やか食育推進会議」の開催

「高齢者の食・栄養の現状と課題」について検討

◆ 構成メンバー： 芦屋栄養士会  
Smile はんしん 認定栄養ケアステーション栄養士

各所属や、地域に向けて実践している活動について情報交換し、今後もそれぞれの活動について情報共有していきたいという声がかかりました。

